



新着図書Pick up!



4月の新着図書を紹介します。

今月は登米図書館です。

一般向け

Pick up 01



『家族が認知症になった時の接し方・介護・頼れるサービス』

監修：内門 大丈
出版社：ナツメ社

自分の大切な人が認知症になったら、どうすればよいのでしょうか。この本では、認知症の基本から認知症の人との接し方、治療の選択肢、必要な介護や役立つ制度などを、イラストや漫画を交え、オールカラーでわかりやすく紹介。

認知症はめずらしい病気ではなく、誰でもなるかもしれない身近な病気です。認知症のことを正しく知り、不安を少しでも減らす手助けになってくれそうな本です。

子ども向け

Pick up 04



『マンガ&図解 新しい紙幣の物語』

著者名：Gakken 編集
出版社：Gakken

2024年7月3日に、一万円、五千円、千円の3種類のお札のデザインが変わります。新しいお札に選ばれた3人の人物はいったいどんなことをした人なのか、気になりますか？

新紙幣の肖像の人物、渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎ほか裏面のデザインについての物語や旧紙幣の肖像の人物たちについてマンガや図解でわかりやすく紹介されている本です。調べ学習にも最適です。

Pick up 02



『伝わる文章がすぐ書ける 接続詞のコツ』

著者名：前田 安正
出版社：すばる舎

文章を書いたときに、何かおかしい…と思ったことはありませんか。普段、何気なく使っている接続詞がうまく使えていないのかもしれない。接続詞の「つなぎ方」を知れば、劇的に読みやすい文章が書けるようになります。

辞書形式で接続詞が探せるので、困ったときにすぐ調べることができて便利です。

文章を書くのが苦手な人におすすめです。

Pick up 05



『あしの多い虫図鑑 あしが8本以上あるのはどんな虫たち?』

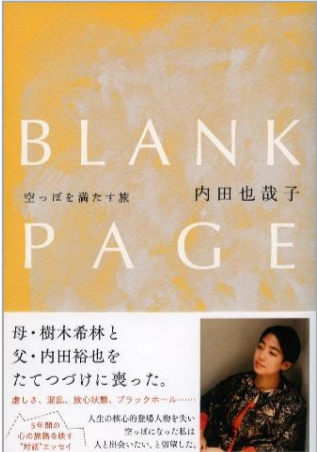
著者名：小野 展嗣
鈴木 知之 写真
出版社：偕成社

ムカデやクモ、ヤスデなどあしが8本以上ある虫。いつもなら昆虫図鑑などの後ろに少しだけ紹介されていることがある虫たちもこの本では主役です！

それぞれの虫の体のつくりやあしの数、くらしている様子、探しに行くときに役立つ情報などがわかりやすい解説と写真で紹介されています。

あしの多い虫たちの世界を一緒に覗いてみませんか？

Pick up 03



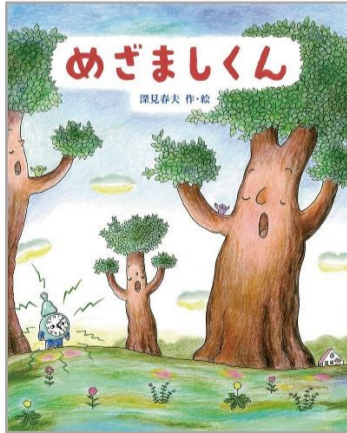
『BLANK PAGE 空っぽを満たす旅』

著者名：内田 也哉子
出版社：文藝春秋

母・内田也哉子、父・内田裕也を立て続けに喪った著者が、谷川俊太郎、小泉今日子、養老孟司らジャンルも様々な15人との〈一対一での対話〉で、人生に訪れる喪失と人と出会うことについて語るエッセイ集です。

美しい文章を書く著者の言葉が心にじんわりと浸透し、暖かい気持ちになれます。急いで読むのが勿体なくて、ゆっくりと時間をかけて読みたくなる一冊です。

Pick up 06



『めざましくん』

著者名：深見 春夫
出版社：徳間書店

みんなを起こしてくれるめざましくん。だいどころや森、はずれのちいさな家でジリジリジリ。

「ねてるひとはもういないかな」そんなところに北の国から一人の男の人がやってきました。

かわいらしいめざましくんと柔らかな色合いが素敵な絵本です。

「目ざめ」をテーマにユニークな視点で書かれた物語をぜひ読んでみてください。

